

C3・ANU・NIST 精製【準備】

【必要物品】



- ・エアダスター
- ・BEMCOT
- ・アルミフイル
- ・ウルトラ・ツール（ライン用）
- ・ウルトラ・ツール（ブレーカー用）
- ・ブレーカー
- ・ブレーカー用バルブ
- ・ヤスリ
- ・サニメント
- ・グリース（APIEZON-L）
- ・グラファイトカード（STD用）

1. ブレーカーを組み立てる



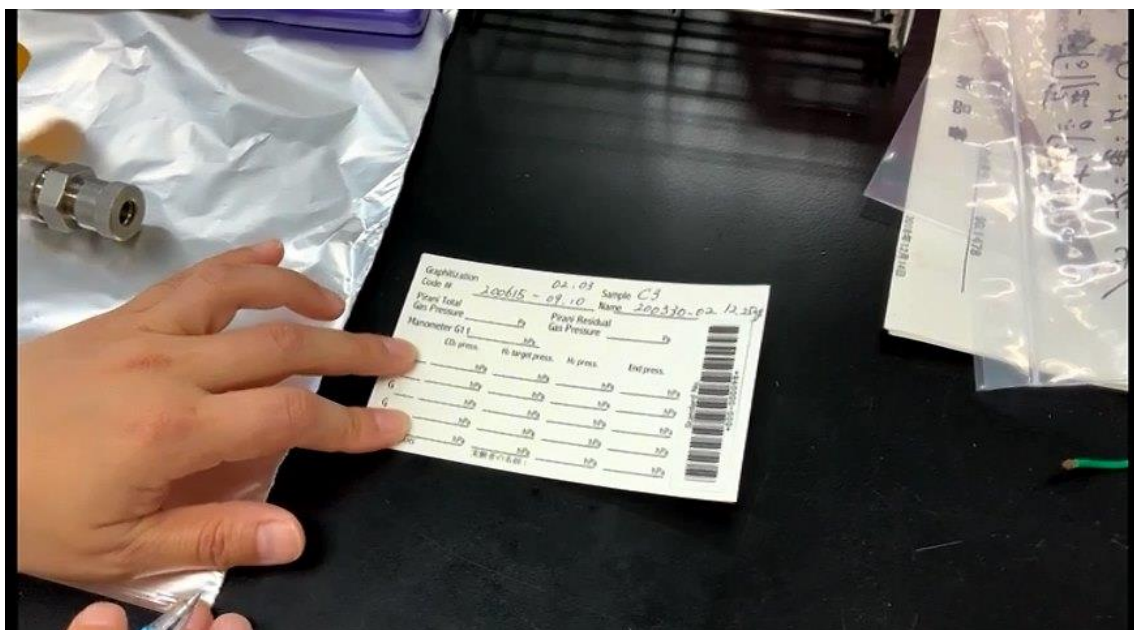
①グリース (APIEZON-L) をブレーカー用バルブの O リングに薄く塗り、ブレーカーに取り付ける。

二つの O リングが密着しているか、蛇行していないか、グリースが足りない部分がないか確認すること



②ウルトラ・ツールをブレーカーに取り付ける。

2. ヤスリで石英管に切り込みを入れる



①STD 用のグラファイトカードに Graphitization Code(精製日+ポート No.)Sample Name(STD 名+秤量日)を記入する。



②石英管をひっくり返して、STD の入っている $\phi 6 \times 50$ mm 石英管を封じ切った側に移動させる



③石英管を割る位置（くびれ）を確認する。



④ブレーカーの上から石英管を合わせ、くびれ位置にマジックで印をつける。
実際にブレーカー内に石英管を挿入し奥まで入れ、そこから 1 mmほど戻した位置を確認する。



⑤ヤスリで切り込みを入れる。エタノールを染み込ませた BEMCOT でマジックと削りカスをよくふき取る。

削りかすが残っていると精製時のリークの原因となるので気を付けること！



⑥石英管をブレーカーに取り付ける。

3.ラインに取り付けて真空引き



①ラインに取り付ける。ウルトラトルがしっかり締まっていることを確認して『VA1』を開き、 5.0×10^{-3} 以下となるまで真空引きを行う。